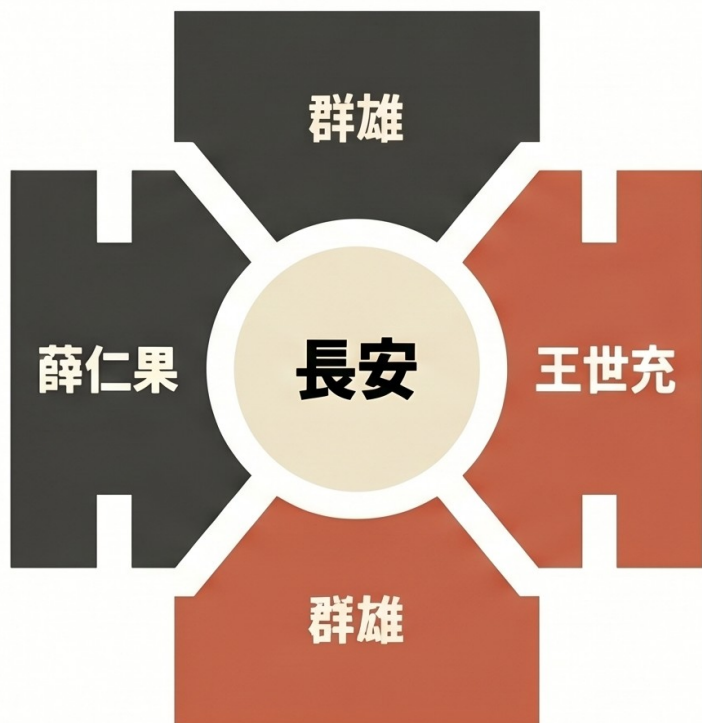


武徳元年：唐朝建国、波乱のスタートダッシュ

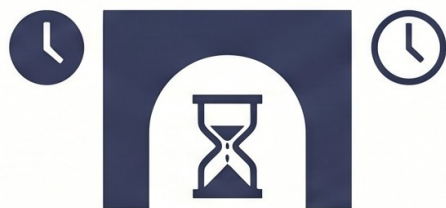
四面楚歌の窮地を脱し、最強の国家基盤を築く。

長安を囲む「四面楚歌」の群雄たち



西の薛仁果、東の王世充など、強力な勢力が誕生したばかりの唐を包囲していた。

李世民的「待つ」知略が西方を制す



60日間の持久戦

60日間の持久戦で敵の驕りを誘い、浅水原の戦いで西方の脅威を一挙に粉碎した。



英雄・李密の自滅：人心は「米」に宿る



規律を重んじる唐へと人材が流出する結果となった。

「法と暦」による国家の骨組み作り



永続する王朝の礎となった。